

尚徳寮

平成29年5月25日

鳥取大学附属中学校

No. 2

Piece ～未来へかける～

これは、本年度生徒会前期スローガンです。
生徒一人ひとりをパズルのpiece（ピース）に例えています。生徒一人ひとりのpieceがどれも欠けないで1つに集まった時、パズルの作品は完成します。ひとり一人が主体となり、よりよい学校を創っていかうとする意気込みを表現しています。



「未来へかける」の「かける」の字にも、2つの意味が込められているそうです。1つは疾走するという意味の「駆ける」。もう一つは橋を渡すという意味の「架ける」です。

piece【自分自身】がそれぞれの特徴を活かし、学級や学校を創り、未来へ向かって駆けていくこと。そして多くの先輩方が創ってくださった歴史を未来へ架けるように成長させながらつないでいくこと。まさに、この2つのことを実現させたなら、よりよい附属中になること間違いなしです。スローガンを具現化させるように、5つの活動方針に沿って、継続的な取り組みを期待しています。

委員会活動でも～福祉委員会朝掃除～

毎朝7:50から8:00まで生徒玄関をボランティアの生徒が清掃しています。この活動は附属中では伝統になっています。ちょうど多くの生徒が登校する時間と重なっており、登校してくる生徒たちと掃除をしている福祉委員の姿が朝の光景の一つになっています。これからも継続して取り組んでいきます。



生徒玄関で朝掃除



実習生も一緒に朝読書

応用実習を実施しました。

5月10日（水）から23日（水）の2週間、44名の鳥大4年生が教育実習を行いました。教育実習の場を提供することは、附属中学校の使命の1つです。指導教員の指導の下に、実習生たちは真摯な気持ちで前向きに取り組んでいました。中学生も実習生の来校を自然体で受け入れていました。実習生の直向きな姿に共感し、自分たちも向上しようとする生徒を育てていきたいと思ひます。

2回目の実習は6月5日（月）から16日（金）の2週間で附属中の卒業生などが実習を予定しています。

6月1日は開学記念日

6月1日（日）は鳥取大学の開学記念日です。全学で開学の意義を考える日としています。現在本校は、ここ湖山の地にありますが、昭和60年までは「尚徳の地」として親しまれた鳥取県庁前にありました。その「尚徳」とはどこからきたのか、それが鳥取大学の前進である鳥取藩の藩校の名に由来するものです。

藩校「尚徳館」は徳を尊び人としての生き方を学ぶ、そのような場所であったと思います。「文武併進」は江戸時代から受け継がれてきた校訓です。人としていかに生きるか、これは現代の私たちも問い続けるべきことです。生徒会の活動方針の1つにマナーアップキャンペーンがありますが、生活の中のルールやお互いが気持ちよくいられる約束を守ることは、やはりこの「尚徳」の精神につながるものだと思います、大変嬉しく感じています。

東部総体・サマープラスコンサート

～熱い気持ちと

冷静な試合運び・演奏を

いよいよ東部総体、サマープラスコンサートがやってきます。昨年の夏に新チームや新メンバーを結成以来、秋の新人戦や冬から春にかけての地道な練習、練習試合等を経て、いよいよ本番です。絶対に勝つという強い気持ちと、気持ちを空回りさせない冷静さを持って試合に臨んで欲しいと思います。頑張れ、附中生！

（試合・演奏日程等については顧問から出される案内文書をご参照ください）

6月行事

1日（木）	東部総体1日目 鳥取大学開学記念日
2日（金）	東部総体2日目
3日（土）	東部総体（バスケット） 予備日 第1回英語検定
5日（月）	教育実習開始
7日（水）	避難訓練
10日（土）	東部総体（野球・サッカー）予備日
11日（日）	サマープラスコンサート
13日（火）	東部陸上
15日（木）	東部陸上予備日
16日（金）	教育懇話会執行委員会 ・役員会・部会 教育実習最終日
21日（水）	前期中間テスト
30日（金）	東部水泳

部活動時の更衣・持ち物の管理について（お知らせとお願い）

部活動時の更衣・持ち物の管理について以下のように取り決め指導しています。

平日：・決められた場所で更衣する。

・朝貴重品は部活終了後、職員室へ取りに行く。

土日：・決められた場所で更衣し、活動場所の目の届く所、カギのかかる場所（部室等）で管理する。

・不要物・高価なものは学校に持ってこない。

保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

